

2019年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2019年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「法学部」

【文芸】

学科	志願者数	1次 合格者数	最終合格者数
法学科	2	1	1
計	2	1	1

【スポーツ】

学科	志願者数	1次 合格者数	最終合格者数
法学科	14	14	13
計	14	14	13

【選考講評】

1. 実施状況

適正に実施されました。

2. 試験内容

ヘイトスピーチ規制に関する新聞の社説を利用して、質疑応答を行いました。

3. 出題意図

他者の主張内容の正確な理解を踏まえて、論理的に自己の意見を述べることができるかどうかを審査するために、新聞の社説を利用して口頭試問を行いました。

4. 評価ポイント

社説の主張内容が正確に理解できているか、それに関して自分の意見を論理的にまとめられるかを評価ポイントとしました。

5. 解答状況

論理的に意見を述べることは難しかったようですが、社説の基本的内容に関しては多くの受験生が理解して、質問に回答することができました。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

法学・政治学は、社会問題を対象とする学問です。普段から、新聞に目を通す習慣をつけておいてください。また、法学部では、専門的な文章を正確に理解したうえで、論理的に意見を主張することが要求されます。したがって、法学部の口頭試問では、「あなたの意見を自由に述べる」というだけでは合格できません。与えられた「文章の正確な理解を踏まえたうえで、あなたの考えを述べなければならない」ということを意識して、受験準備をするようにしてください。

7. 進学指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

法学・政治学を学ぶ上で、社会問題に関心を持つことが必須となります。普段から問題意識をもって新聞記事を読むようにご指導ください。また、ただ漫然と読むのではなく、専門的な文章を理解して、その内容を説明できるかどうか、その理解にもとづいて自己の主張を論理的に展開できるかを重視しています。受験生に対して、以上の点をアドバイスしていただければ幸いです。

以 上